

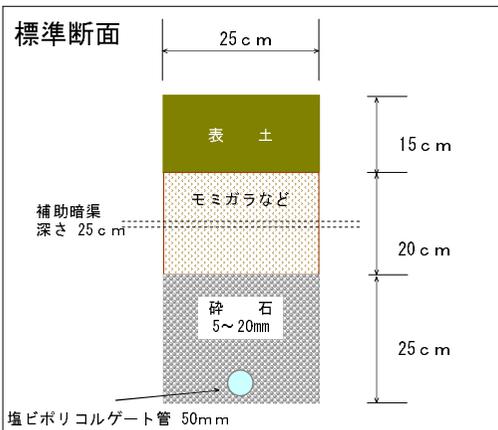
4 排水対策(暗渠排水)による水田の畑地化

暗渠排水の施工

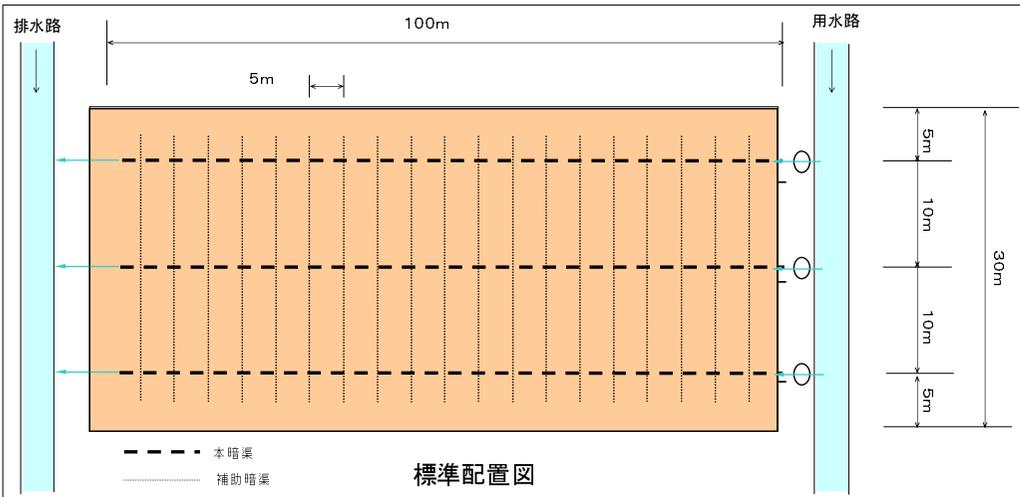
○排水性の改善

新たな野菜などを導入しようとするとき、ほ場の排水性の確保が不可欠です。
 広島県では、ほ場整備済農地の約3割に、暗渠排水が施工されていますが、布設の密度が低いことや、経年変化による機能の低下で排水が不十分なほ場があります。
 ほ場整備完了地区においても、暗渠排水や客土など必要な再整備、追加整備が実施できます。

標準事業費：230千円/10a(配管間隔10m)



左図は本暗渠の標準断面、下図は標準配置図です。
 導入作物によって、排水管の間隔を狭くしたり、深さを浅くすることも可能です。
 また本暗渠と直角方向に、補助暗渠を入れると排水性の効果が向上します。



大豆の暗渠排水による生育状況の比較



暗渠なし



本暗渠+補助暗渠

写真提供：広島県立農業技術センター

暗渠排水に付加した地下かんがいシステム

○ 暗渠排水を活用して地下かんがいを行うシステム

暗渠排水管上流部に用水取り入れ機能、下流部に水位調整機能を付加することで、地下からかんがいし、地下水位を調整するシステムを安価で導入できます。
 作物の生育状況に応じた適切な地下水位が可能となり、営農労力の節減にもつながります。

**標準事業費
 270千円/10a(配管間隔10m)**

